

# 平成 29 年度 事業 報告

平成 29 年 4 月 1 日から  
平成 30 年 3 月 31 日まで

## I 事業概要

### 1 MICE 事業部門

国際会議等の MICE(\*)は、海外の人と知恵を呼び込み、ビジネス機会の創出、地域経済波及効果、都市の競争力・ブランド力向上に貢献する我が国の経済成長のためのソフトインフラである。国は「観光立国実現に向けたアクション・プログラム」(平成 25 年 6 月 11 日観光立国推進閣僚会議)において、観光立国実現に向けた主要な柱の一つとして MICE を位置付け、積極的な誘致・開催に取り組んできたところである。

そうした中、平成 28 年 3 月には、内閣総理大臣を議長とする「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」において「明日の日本を支える観光ビジョン」が決定され、MICE 誘致の促進について、オールジャパン体制での支援を実施するとした方向性が示された。さらに、平成 29 年 8 月には観光庁において官民連携による「MICE 国際競争力の強化に向けた中間とりまとめ」を策定し、具体的なアクションプランを実行しているところである。これらの観光立国政策とも相まって、平成 29 年における訪日外国人旅行者数は約 2,869 万人、訪日外国人旅行消費額は約 4 兆 4,161 億円となり、いずれも過去最高となっている。

当財団では、こうした国の動きを踏まえるとともに、観光庁が「グローバル MICE 都市(千葉県・千葉市)」に対して平成 27 年度から 2 か年にわたって実施した支援事業の成果を活用して、MICE 事業の一層の強化を図ったところであり、その結果、MICE 誘致件数は 140 件と目標を上回って達成することができた。

千葉県の知名度の向上、フィルムツーリズムの推進等を目的とする千葉県フィルムコミッション運営事業(受託事業)については、千葉県の補助制度である「千葉県映画・テレビ等撮影支援事業補助金」の活用など、積極的な事業推進に努めてきたところであり、平成 29 年度の県内撮影件数は 95 件と前年度と同水準の実績となった。

また、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて千葉県が実施している「スポーツコンシェルジュ運営事業」については、平成 27 年度の発足当初から当財団が受託しており、事前キャンプや国際大会等の県内誘致に向けた活動を行っている。平成 29 年度は、平成 30 年 8 月に開催される「2018 年世界女子ソフトボール選手権大会」の事前キャンプの誘致や開催支援等に取り組み、日本、カナダ、ニュージーランド代表チームなどが県内で事前キャンプを行った。

\*MICE (マイス) とは？

企業等の会議 (Meeting) , 企業等の行う報奨・研修旅行 (インセンティブ旅行) (Incentive Travel) , 国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention) , イベント、展示会・見本市 (Event/Exhibition) の頭文字のこと。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

## 2 国際交流部門

訪日外国人旅行者数は、観光振興に向けた積極的な国の取り組みや、国や地域の垣根を超えたグローバル化の進展に伴い、平成 26 年の約 1,341 万人から平成 29 年には約 2,869 万人に増加し、千葉県内に在留する外国人数についても平成 26 年末の約 11 万 4 千人から平成 29 年末には約 14 万 6 千人と年々増加している。

こうした状況の中、当財団では、千葉県における国際交流の中核的な機関として、県内の民間交流団体をはじめボランティア、地域の国際交流協会、大学、行政機関等と連携を図り、県民や民間交流団体による国際理解や国際交流・協力活動の促進、在住外国人への支援を通じた多文化共生の実現等を図った。

主な事業として、民間交流団体活動や国際交流ボランティアなどに関する各種情報収集、情報提供、様々な関係団体との連絡会議、在住外国人が安心して生活できるための外国人テレホン相談や無料法律相談などを実施した。

また、国際交流ボランティアの資質向上に向け、日本語ボランティア講座やコミュニティ通訳等の講座を行うとともに、県民等による国際理解や国際交流・協力への気運を醸成するため、国際理解セミナーの開催やちば出前講師の紹介を実施した。

さらには、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、来日外国人や県内外国人住民を支援する人材の育成を図るため、通訳ボランティアの養成講座を年 6 回開催するとともに、国際スポーツ大会にボランティアを紹介し、大会運営に協力した。

## II 実施事業

### 1 オール千葉による MICE 誘致・支援の実施

#### (1) MICE 誘致の新たな展開

##### ア MICE 関連目標数値

激化する地域間競争に打ち勝ち、千葉県における MICE 開催を促進するため、千葉県、国際会議観光都市（千葉市、成田市、木更津市及び浦安市）、各市町村、地元大学・研究機関及び会議のテーマに応じた関係機関・関係団体・賛助会員等との連携を強化し、「オール千葉」として効果的な誘致活動等を展開した。

##### 【MICE 誘致件数の実績】

	MICE 誘致件数	うち JNTO 基準(*)を満たす 国際会議の誘致件数
目 標	98 件	65 件
実 績	140 件	66 件

(\*) JNTO 基準の国際会議…次の(1)～(4)を全て満たす会議

- (1) 主催者：国際機関・国際団体（各国支部を含む）又は国家機関・国内団体（各々の定義が明確ではないため「特定企業の利益を追求することを目的とした会議」の主催者を除く全てが対象）
- (2) 参加者総数：50 名以上
- (3) 参加国：日本を含む 3 か国以上
- (4) 開催期間：1 日以上

(\*) JNTO

Japan National Tourism Organization（独立行政法人国際観光振興機構（通称日本政府観光局））の略。海外における観光宣伝、外国人観光旅客に対する観光案内その他外国人観光旅客の来訪の促進に必要な業務を効率的に行うことにより、国際観光の振興を図ることを目的としている。

#### イ 誘致に成功した主な MICE

##### (ア) 国際会議

MICE の名称	開催時期	参加者数 (うち海外)	開催場所等
AESCS 2018 and IMA Asia-Pacific Regional Meeting	平成 30 年 3 月	100 人 (10 人)	国際医療福祉大学
ACI アジア太平洋地域総会	平成 30 年 4 月	500 人 (200 人)	東京ベイ幕張ホール
第 13 回エレクトロロミズムに関する国際会議	平成 30 年 8 月	150 人 (60 人)	千葉大学
アジア学生交流会議 (GPAC) 2018	平成 30 年 8 月	150 人 (100 人)	千葉商科大学
第 54 回日本胆道学会学術会議	平成 30 年 9 月	1,000 人 (50 人)	幕張メッセ
第 43 回日本足の外科学会学術集会	平成 30 年 11 月	1000 人 (300 人)	かずさアーク
日本薬学会第 139 年会	平成 31 年 3 月	8,500 人 (300 人)	幕張メッセ

第 60 回日本母性衛生学 総会・学術集会	平成 31 年 10 月	2,000 人 (10 人)	ヒルトン東京ベイ
--------------------------	--------------	-------------------	----------

(イ) 企業会議・インセンティブ旅行

MICE の名称	開催時期	参加者数 (うち海外)	開催場所等
ベトナム人材アウトソーシング企業インセンティブ	平成 30 年 4 月	230 人 (230 人)	米屋観光センター
香港生命保険 インセンティブ	平成 30 年 6 月	2,500 人 (2,500 人)	幕張メッセ
マレーシア栄養機能食品 販売企業インセンティブ	平成 30 年 10 月	500 人 (500 人)	ホテルニューオータニ幕張

## ウ 千葉県スポーツコンシェルジュ運営事業（受託事業）

平成 27 年度より事業を受託し、ホームページを活用してスポーツ施設・宿泊施設・病院をパッケージとした情報提供を行うとともに、国際競技団体等の依頼に基づく視察への対応や、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致を希望している自治体との調整を行った。

また、平成 28 年度に誘致した 2018 年世界女子ソフトボール選手権大会に向けた各国チームのトレーニングキャンプの県内誘致を支援し、銚子市、市原・君津市などが誘致に成功した。

さらに、平成 29 年度から、オリンピック・パラリンピックや県内のスポーツ情報などを発信するメールマガジンを開始した。

(ア) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック事前キャンプ等の誘致

ケニア、オーストラリア、カナダなどの 8 か国 11 種目のオリンピック委員会及びパラリンピック委員会の視察を支援した。

オリンピック・パラリンピックの大会期間中に各国オリンピック委員会が設置する、プロモーション活動等を行う拠点施設である「NOC ハウス」の県内設置に向けた誘致活動を行った。

(イ) 世界女子ソフトボール選手権大会の事前キャンプの誘致

平成 28 年度に誘致した 2018 年世界女子ソフトボール選手権大会の事前キャンプの誘致に取り組んだ結果、平成 29 年度には各国代表チームが県内で次のとおり事前キャンプを実施した。

- ・ 日本代表（印西市、鴨川市）
- ・ 台湾代表（銚子市）
- ・ ニュージーランド代表（君津市、市原市）
- ・ カナダ代表（印西市）

(ウ) ホームページ等を活用した発信力の向上

2020 東京オリンピック・パラリンピックや国際スポーツ大会の事前キャンプ、

学生のスポーツ合宿などの誘致に資することを目的として、日本語と英語の2か国語のホームページや、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）などによる積極的な情報発信を行った。また、協力大学、協力企業のバナーをホームページに掲載した。

- a 掲載スポーツ施設：市町村・民間・大学などの施設 150 件（11 施設増）
- b 掲載宿泊施設：千葉市など県内 28 郡市の施設 147 件（2 施設増）

(エ) スポーツに関連する国際会議の誘致

JADA（公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構）が主催する「アジア・オセアニア国際アンチ・ドーピングセミナー」の誘致に成功した。

## (2) 誘致競争力の強化

### ア MICE 誘致活動

助成金制度の活用、視察受入れ及び相談対応等の支援により、国際会議を中心に、インセンティブ旅行や企業ミーティングの誘致活動を行うとともに、ステークホルダーとの連携強化に取り組んだ。

#### (7) 国内誘致活動

a 主催者訪問と視察受入れ

千葉県、国際会議観光都市（千葉市、成田市、木更津市及び浦安市）、地元大学や研究機関（千葉大学、千葉工業大学、東京大学、神田外語大学、日本大学、東邦大学、千葉商科大学、国際医療福祉大学、東京理科大学、放射線医学総合研究所、かずさDNA研究所等）と連携して、誘致活動等を行った。

(a) 主な誘致活動

- ・企画書・見積書の提出（36 件）  
ACM SIGCHI 2021 等
- ・国内外のキーパーソン（MICE 開催決定権者又は影響力を持つ者）の視察受入れ（24 件）  
ACI アジア太平洋地域総会、IEEE-ICASI 等

b 県内大学教職員・研究者に対する MICE セミナー・視察会の実施

(a) 大学教職員対象セミナー

千葉大学工学部の教職員を対象に、当財団の支援内容等を説明した。

- ① 開催日：平成 29 年 12 月 21 日
- ② 開催場所：千葉大学工学部会議室
- ③ 参加者数：約 80 名

(b) 幕張エリア MICE 視察会

千葉工業大学の教職員を対象に、MICE 施設の視察を通じて、幕張エリアの魅力や優位性を体感していただくため、視察会を開催した。

- ① 開催日：平成 30 年 3 月 19 日

- ② 開催場所：幕張新都心（幕張メッセ、見浜園）
- ③ 参加者数：33名
- ④ 共 催：幕張メッセ

c ICCA が主催する国内商談会への参加

- (a) 名 称：ICCA アソシエーション・ミーティング・プログラム（AMP）
- (b) 会 期：平成 29 年 6 月 30 日
- (c) 会 場：福岡市 ヒルトン福岡シーホーク
- (d) 主催者：ICCA
- (e) 商談数：16 件

(\*)ICCA

International Congress and Convention Association（国際会議協会 本部アムステルダム）の略。1963 年に創設された国際会議に係わる業界関係者の知識と人脈を構築し、世界各国で国際会議を開催するための情報交換を目的とする団体。現在、世界 100 カ国の約 1100 団体の政府観光局、コンベンションビューロー、会議施設、ホテル、リゾート等の業界関係者が所属している。

d 千葉 MICE Day の実施

主催者対象の千葉 MICE サロンと賛助会員交流会を統合・強化し、主催者と賛助会員が一堂に会する千葉 MICE Day を開催した。県内 MICE 施設の視察会を行ったほか、講演会、意見交換会及び商談会を行い、来賓及び会議主催者、賛助会員など 237 名の参加を得た。

- (a) 開催日：平成 29 年 11 月 9 日
- (b) 開催場所：ホテルオークラ東京ベイ（浦安市）
- (c) 参加者数：237 名

e ステークホルダーとの連携

誘致競争力の強化を図るため、各自治体、MICE 施設及び宿泊施設等との情報共有を行うとともに、共同誘致に向けた体制作りに取り組んだ。

(a) 「MICE 誘致施設連絡会議」の実施

MICE 施設、千葉県、県内国際会議観光都市（千葉市・成田市・木更津市・浦安市）及び柏市等と当財団との間の情報・課題の共有と、効果的な共同誘致を図るための場として「MICE 施設連絡会議」を開催した。

開催日	内 容	団体数 (参加者数)
平成 29 年 4 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度 MICE 事業計画について</li> <li>・MICE に関する情報交換</li> </ul>	20 団体 32 名

(b) 誘致案件検討会の開催

MICE 施設関係者を中心としたステークホルダーが集まり、見本市出展、商談会への参加などの財団の誘致活動に合わせて、各 MICE 案件について

情報共有を図った。

	開催日	団体数(参加者数)
1	平成29年5月25日	8団体9名
2	平成29年6月8日	9団体11名
3	平成29年7月6日	7団体9名
4	平成29年8月31日	8団体9名
5	平成29年9月28日	7団体7名
6	平成29年11月2日	7団体8名
7	平成29年12月14日	6団体7名
8	平成30年2月15日	12団体13名
9	平成30年3月16日	6団体6名

(c) MICE 関連施設視察研修会（北総エリア）

財団職員の資質向上及びホテルの営業担当者に対する情報提供等を目的として、MICE 関連施設の視察研修会を開催した。

- ① 開催日：平成30年3月23日
- ② 訪問先：佐原町並み交流館、東薫酒造、米屋羊羹資料館、成田山新勝寺、飯沼本家（酒蔵）
- ③ 参加者数：27名
- ④ 協力：（公社）千葉県観光物産協会

(d) 幕張メッセとのMICEセールスミーティング

幕張メッセと当財団の誘致担当者を中心に、千葉県、千葉市を交えてターゲットリストの共有、各MICE案件についての情報共有及び勉強会を行った。

	開催日	内容
1	平成29年5月31日	・事業方針の確認について ・MICE案件について ・オリ・パラ前の施設利用について
2	平成29年9月5日	・ターゲットリストの共有について ・MICE案件について
3	平成30年1月16日	・ICCA2020誘致活動について (外部よりプレゼンター招聘)

(e) 人材育成千葉講座開催

文部科学省平成29年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」「地域インバウンド対応のための観光ビジネスフロンティア人材育成事業」（横浜商科大学）を活用して千葉講座を幕張メッセで開催した。

また、千葉市中心市街地街づくり協議会及び千葉大学から講師を招聘し、MICE開催が地域にもたらす効果について、啓発を行った。

開催日	内 容	団体数 (参加者数)
平成 29 年 11 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座①「地域にとっての観光・MICE の意義」</li> <li>・講座②「地域イベントを観光資源として考える」</li> <li>・フィールドワーク「第 5 回鉄道技術展 2017」</li> <li>・グループ討議（ワークショップ）</li> </ul>	12 団体 17 名 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体</li> <li>・ホテル</li> <li>・飲食業</li> <li>・大学教授等</li> </ul>

## (イ) 海外誘致活動

- a IMEX2017 への出展
- (a) 名 称：IMEX2017  
(The Worldwide Exhibition for Incentive Travel, Meetings and Events)
- (b) 会 期：平成 29 年 5 月 16 日～18 日
- (c) 会 場：ドイツ・フランクフルト Messe Frankfurt
- (d) 主催者：Regent Exhibition, Ltd
- (e) 商談数：63 件
- b IMEX America 2017 への出展
- (a) 名 称：IMEX America 2017
- (b) 会 期：平成 29 年 10 月 10 日～12 日
- (c) 会 場：米国・ラスベガス Sands Expo Convention Center
- (d) 主催者：IMEX America Ltd
- (e) 商談数：31 件
- c ICCA が主催する総会・商談会等への参加
- (a) ICCA アジア太平洋チャプター ビジネスワークショップ 2017
- ① 会 期：平成 29 年 9 月 7 日
- ② 会 場：韓国・釜山 Park Hyatt Busan
- ③ 主催者：ICCA アジア太平洋チャプター
- ④ 商談数：16 件
- (b) ICCA 総会（第 56 回 ICCA コングレス）
- ① 会 期：平成 29 年 11 月 11 日～15 日
- ② 会 場：チェコ・プラハ Prague Convention Centre
- (c) ICCA 主催研修会（International Meeting Seminar）
- ① 会 期：平成 30 年 2 月 18 日～19 日
- ② 会 場：オーストラリア・メルボルン  
Melbourne Convention & Exhibition Centre



## (ウ) 誘致活動の強化促進（特別対策事業）

国際的な MICE 誘致競争が激化する中、海外競合国・都市との厳しい誘致競争に打ち勝つため、国内・海外で開催される商談会・セミナーや、知事の海外トップセールスに合わせた観光ミッション団に参加し、千葉の魅力を積極的に PR した。

### a 国内での JNTO 主催商談会への参加

#### (a) ビジットジャパン・東アジア・トラベルマート

- ① 開催時期：平成 29 年 6 月 27 日～28 日
- ② 会 場：グランメッセ熊本
- ③ 参 加 者：東アジア（中国、台湾、韓国、香港）の旅行会社、海外旅行メディア、国内観光関係者・事業者
- ④ 主 催：観光庁及び JNTO
- ⑤ 商 談 数：22 件

#### (b) ビジットジャパン・アセアン+インドア・トラベルマート

- ① 開催時期：平成 29 年 9 月 21 日～23 日
- ② 会 場：インテックス大阪
- ③ 参 加 者：東南アジア（タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア、シンガポール、フィリピン）とインドの旅行会社、海外旅行メディア、国内観光関係者・事業者
- ④ 主 催：観光庁及び JNTO
- ⑤ 商 談 数：39 件

### b 海外商談会・見本市への参加

#### (a) インドネシア・インセンティブ旅行・セミナー（ジャカルタ）

- ① 名 称：インドネシア・インセンティブ・セミナー（ジャカルタ）
- ② 会 期：平成 29 年 5 月 17 日
- ③ 会 場：ジャカルタ・インドネシア
- ④ 主催者：JNTO
- ⑤ 商談数：20 件

#### (b) ITB Asia 2017 への出展

- ① 名 称：ITB Asia 2017
- ② 会 期：平成 29 年 10 月 25 日～27 日
- ③ 会 場：シンガポール Marina Bay Sands
- ④ 主催者：Messe Berlin Singapore
- ⑤ 商談数：46 件

#### (c) AIME 2018 への出展

- ① 名 称：AIME 2018  
The Asia-Pacific Incentive and Meeting Expo

- ② 会 期：平成 30 年 2 月 20 日～21 日
- ③ 会 場：オーストラリア・メルボルン  
Melbourne Convention and Exhibition Center
- ④ 主催者：Talk2 Media and Events
- ⑤ 商談数：36 件

- (d) 海外における知事トップセールスに合わせた商談会
  - ① 名 称：ベトナム・タイ王国千葉県観光ミッション団
  - ② 会 期：平成 30 年 2 月 2 日・5 日
  - ③ 会 場：ベトナム・ホーチミン、タイ・バンコク・チェンマイ
  - ④ 主催者：千葉県
  - ⑤ 商談数：11 件

## (イ) 県・市からの受託事業

- a ビジット・ジャパン・トラベルマート 2017
  - (a) 開催時期：平成 29 年 9 月 21 日～23 日
  - (b) 会 場：東京ビッグサイト
  - (c) 参 加 者：海外各国の旅行会社約 300 社、海外旅行メディア約 30 社、  
国内観光関係者・事業者約 400 社
  - (d) 主 催：観光庁及び JNTO
  - (e) 商談件数：77 件
  - (f) 委 託 者：千葉県
- b タイメディア・旅行会社招聘
  - (a) 期 間：平成 29 年 7 月 7 日～10 日
  - (b) 内 容：タイのメディア 1 名、旅行会社 2 名を招聘して県内視察を行い、  
インセンティブ旅行等の開催地としての魅力を PR した。
  - (c) 委託者：千葉県
- c 台湾旅行会社へのバス施策周知
  - (a) 期 間：期 間：平成 29 年 10 月 22 日～26 日
  - (b) 内 容：千葉県観光物産協会とともに台北、台南、高雄の旅行会社を訪問  
し、訪日外国人が団体旅行をする場合の大型バス優待料金制度を  
周知した。
  - (c) 委託者：千葉県観光物産協会
- d タイメディア・旅行会社招聘
  - (a) 期 間：平成 29 年 11 月 15 日～18 日
  - (b) 内 容：タイのメディア 6 名、旅行会社 8 名、タイ航空 2 名を招聘して  
県内視察を行い、インセンティブ旅行等の開催地としての魅力を  
PR した。

(c) 委託者：千葉県

e ビスリグ市（フィリピン）調査

(a) 期 間：平成 29 年 11 月 27 日～12 月 1 日

(b) 内 容：木更津市の友好都市であるビスリグ市を訪問して市長と面談し、両市が国際交流を深めるための効果的な方策等を調査した。

(c) 委託者：木更津市

f タイメディア招聘（SUGOI JAPAN）

(a) 期 間：平成 29 年 12 月 8 日～12 日

(b) 内 容：日本を紹介するタイの人気旅行番組「SUGOI JAPAN」の制作スタッフ5名を招聘して県内視察を行い、千葉の魅力をPRした。

(c) 委託者：千葉県

g ボゴール市（インドネシア）調査

(a) 期 間：平成 29 年 12 月 12 日～16 日

(b) 内 容：木更津市の友好都市であるボゴール市を訪問し、両市の中学校の交流事業を支援するとともに、両市が国際交流を深めるための効果的な方策等を調査した。

(c) 委託者：木更津市

h 台湾メディア招聘

(a) 期 間：平成 30 年 3 月 20 日～22 日

(b) 内 容：台湾のメディア3名を招聘して県内視察を行い、インセンティブ旅行等の開催地としての魅力をPRした。

(c) 委託者：千葉県

## イ 各種助成制度を効果的に活用した誘致・支援

### (ア) 県内開催 MICE に対する支援状況

MICE 主催者及び参加者に対し、開催地域や関係団体及びボランティア等と連携して、ニーズに合った支援を実施した。

	ミーティング	インセンティブ	コンベンション	イベント・展示会	合計
支援 MICE 件数	9	14	49	19	91

### (イ) 助成金・貸付制度の運用

公共性及び経済波及効果の高いコンベンションに対して、審査会での決定を経てコンベンション開催助成金交付を行い、円滑な開催を支援した。

なお、コンベンション開催準備資金の貸付けについては、実績はなかった。

a コンベンション開催助成金の交付 (20件 660万円)

	会議名	開催時期	参加者数 (うち海外)
1	第56回国際粒子線治療共同グループ (PTCOG) 年次大会	平成29年5月	1,500人 (1,000人)
2	JpGU - AGU Joint Meeting 2017	平成29年5月	8,450人 (1,110人)
3	第52回日本理学療法学会大会	平成29年5月	7,771人 (2人)
4	第66回日本医学検査学会	平成29年6月	6,508人 (40人)
5	第65回日本輸血・細胞治療学会総会	平成29年6月	2,016人 (6人)
6	日本生理人類学会第75回大会	平成29年6月	128人 (8人)
7	第21回日本がん免疫学会総会	平成29年6月	660人 (14人)
8	1st QST International Symposium "Quantum Life Science"	平成29年7月	300人 (19人)
9	2nd Asian Conference on Ergonomics and Design 2017 及び日本人間工学会第58回大会 (併催)	平成29年6月	500人 (150人)
10	第13回果実生産への植物成長調節物質の役割に関する国際シンポジウム (PGR-2017)	平成29年8月	163人 (94人)
11	第20回ヨウ素学会国際シンポジウム	平成29年9月	299人 (7人)
12	第40回日本神経科学大会	平成29年7月	3,473人 (340人)
13	第10回アジア環太平洋音声言語聴覚学会学会大会	平成29年9月	464人 (178人)
14	日本植物学会第81回大会	平成29年9月	947人 (8人)
15	第23回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学会大会	平成29年9月	6,000人 (8人)
16	EC/TC77 国際会議 (総会)	平成29年9月	191人 (66人)
17	38 <sup>th</sup> International Conference on Infinite Dimensional Analysis, Quantum Probability and Related Topics, QP38	平成29年10月	111人 (57人)

18	日本甲殻類学会第 55 回大会	平成 29 年 10 月	104 人 (8 人)
19	第 39 回日本臨床栄養学会総会・第 38 回日本臨床 栄養協会総会 第 15 回大連合大会	平成 29 年 10 月	500 人 (10 人)
20	日本放射線影響学会第 60 回大会	平成 29 年 10 月	492 人 (8 人)

(参考 1) 過去のコンベンション開催助成金交付状況

年度	交付 件数	交付総額	主な交付会議
26	12	800 万円	第 99 回国際キワニス年次総会
27	12	380 万円	第 9 回国際中欧・東欧研究協議会世界大会
28	19	380 万円	第 13 回国際尿路結石症学会

b コンベンション開催準備資金貸付け (該当なし)

(参考 2) 過去のコンベンション開催準備資金貸付状況

年度	貸付 件数	貸付総額	主な貸付会議
26	—	—	—
27	—	—	—
28	1	200 万円	50 周年記念 全国公立小中学校事務研究大会 千葉大会 (平成 30 年 8 月開催)

c 県・市の国際会議開催補助金制度の円滑な運用に向けた支援

MICE 誘致活動の中で、「千葉県国際会議開催補助金制度」、「千葉市国際会議開催補助制度」、「千葉市大規模コンベンション開催補助制度」及び「成田市コンベンション開催事業補助金制度」について、制度の周知を図った。

(ウ) 重点 MICE 支援

a 「Gastech Japan 2017」

平成 29 年 4 月に幕張メッセで開催された「Gastech Japan 2017」について、神田外語大学学生を含むボランティアの手配、地元自治体への連携調整、成田空港での歓迎デジタルサイネージの掲出、前回大会でのプロモーション、アトラクション手配などの支援を行った。

b 「JpGU AGU Joint Meeting 2017」 (日本地球惑星科学連合 2017 年大会)

平成 29 年 5 月に幕張メッセで開催された「JpGU AGU Joint Meeting 2017」について、ボランティアの手配、地元自治体への連絡調整、広報活動 (ビジョン放映、プレスリリース) などの支援を行った。

c 「第10回アジア環太平洋音声言語聴覚学会学術大会」

平成29年9月に国際医療福祉大学成田キャンパスで開催された「第10回アジア環太平洋音声言語聴覚学会学術大会」について、成田山書道美術館をユニークベニューとして活用したレセプションの手配、プレスリリースなどの支援を行った。

d 「Foodex Japan 2018」

平成30年3月に幕張メッセで開催された「Foodex Japan 2018」について、千葉商工会議所、千葉市観光協会及び千葉県醤油共同工業組合の協力のもと、海外の出展者や企業を対象とした「蓮池ツアー（街歩き）」、「醤油工場見学ツアー」を開催した。また、インフォメーションデスクの設置やアトラクションの手配などの支援を行った。

## ウ 「千葉らしい」MICE 支援プログラムの開発及び拡充

国内外の主催者が千葉県で円滑に国際会議が運営できるように、地元自治体・関連事業者・ボランティアの紹介、ユニークベニューの提案を行うなど、当財団がワンストップの窓口となり支援した。MICE 関連施設に対しても、会議の概要や主催者の希望などを丁寧に説明して、協力を得られるようにするなど、MICE 開催地としての千葉県の魅力向上に努めた。

<当財団が主催者に紹介した主な関連施設・事業者>

ホテル、PCO、展示施工会社、幕張メッセ関連団体、文化施設、郷土芸能保存団体、大型ショッピングセンター、周辺レストラン、成田空港、バス会社、県内観光施設、千葉県観光物産協会、食品製造・販売業者など

<主な支援プログラム>

- ・第40回日本神経科学大会（物産コーナー設置、オリジナルギブアウェイ（記念品等）作成）
- ・第13回「果実生産への植物成長調節物質の役割」に関するシンポジウム（アトラクション手配、産業視察支援）
- ・第56回全国自治体病院学会（物産コーナー設置、アトラクション手配）
- ・第26回全国救急隊員シンポジウム（物産コーナー設置、千葉中心市街地へのバス手配）
- ・日本こども虐待防止学会 第23回学術会議ちば大会（物産コーナー設置）
- ・第21回日本がん免疫学会総会（日本酒試飲コーナー設置）
- ・アジア・オセアニア国際アンチ・ドーピングセミナー（広報協力、自治体との連絡調整）

種 別	件数	内 容
ボランティア紹介	2	主催者要望に基づく運営及び語学ボランティア
観光等資料提供	28	幕張新都心及び県内観光案内資料等の提供
千葉県の名産 販売手配・斡旋	11	千葉県の名産・特産品・酒類・伝統工芸品等を 県観光物産協会、県酒造組合と連携し販売
広報	11	財団ホームページ等によるイベントや公開 シンポジウム開催等の告知
伝統芸能・ アトラクション (演奏・演技等) 紹介	16	千葉交響楽団、M☆スプラッシュ、 船橋ばか面踊り、浦安囃子、日本舞踊、 箏曲、太鼓
後援名義	20	後援名義の使用承認
その他		関係機関との連絡調整補助、関係者会合への 出席、地元事業者紹介（ユニークベニュー、PCO 含む）、成田空港歓迎サイネージ掲出申請、 ギブアウェイ提供、ショッピングモール割引 クーポン配布、当日運営補助、ツアー催行補助等

<ボランティア紹介の詳細>

内 容	延べ人数
語学ボランティア	90 人
コンベンションボランティア	13 人
合 計	103 人

## エ 国際会議観光都市との連携

千葉県内の国際会議観光都市である千葉市、成田市、木更津市及び浦安市と連携し、MICE 誘致活動（国内外の展示会出展、キーパーソンの招請等）を行い、国際会議観光都市での会議開催を働きかけた。

(\*) 国際会議観光都市

国際会議施設、宿泊施設などのハード面やコンベンションビューローなどのソフト面での体制が整備されており、コンベンションの振興に適すると認められる市町村を、市町村からの申請に基づき、観光庁長官が国際会議観光都市として認定する制度。

### (7) 海外における国際会議主催者セミナーへの参加

#### a 国際会議主催者セミナー（韓国ソウル）

- (a) 会 期：平成 29 年 6 月 20 日
- (b) 会 場：Seoul Plaza Hotel
- (c) 主 催：JNTO
- (d) 商談件数：23 件

b 国際会議主催者セミナー（シンガポール）

- (a) 会 期：平成 29 年 10 月 24 日
- (b) 会 場：Marina Bay Sands
- (c) 主 催：JNTO
- (d) 商談件数：26 件

(イ) 海外におけるインセンティブ旅行セミナーへの参加

a タイ・インセンティブ旅行セミナー（バンコク）

- (a) 会 期：平成 29 年 8 月 11 日
- (b) 会 場：Radisson Blu Plaza Bangkok Hotel
- (c) 主 催：JNTO
- (d) 商談件数：6 件

b 台湾・インセンティブ旅行現地セミナー（高雄、台中、台北）

- (a) 会期会場：平成 30 年 1 月 16 日 高雄 85 スカイトワーホテル  
平成 30 年 1 月 17 日 台中 スプレnderホテル  
平成 30 年 1 月 18 日 台北 ザ・ウェスティン台北
- (b) 主 催：JNTO
- (c) 商談件数：34 件

(ウ) JNTO 主催国際会議海外キーパーソンとの商談会（Meet Japan 2018）

- (a) 実 施 日：平成 30 年 3 月 1 日
- (b) 会 場：京王プラザホテル
- (c) 主 催：JNTO
- (d) 商談件数：5 件

(イ) 第 27 回国際会議 MICE エキスポ（IME2018）への参加

- (a) 開 催 日 時：平成 30 年 2 月 28 日
- (b) 会 場：京王プラザホテル
- (c) 主 催：JCCB、JNTO
- (d) 来 場 者 数：469 名（バイヤー）
- (e) 商 談 件 数：12 件

(\*) JCCB

Japan Congress Convention Bureau（一般社団法人日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー）の略。

我が国のコンベンションをより一層振興させることを目的に、国際観光振興会、国際会議観光都市、コンベンション・ビューロー等により設立された組織。

(オ) 海外インセンティブ旅行キーパーソン招請事業

- (a) 会 期：平成 29 年 11 月 20 日～24 日
- (b) 対 象 者：インドネシア ASTINDO 傘下 7 社 8 名



- (c) 主な視察先：東京ディズニーリゾート、海ほたる、(木更津写真館、宝家)、三井アウトレットパーク木更津、成田山新勝寺・表参道(川豊、米屋観光センター)、生命の森、横田ファーム(いちご)、幕張メッセ、イクスピアリ、エクセル航空、菅原工芸硝子(ガラス作り体験)、佐原の町並み

(カ) ビジット・ジャパン・トラベルマート/MICE マート 2017 商談会への参加

- (a) 会 期：平成 29 年 9 月 21 日～23 日
- (b) 会 場：東京ビックサイト
- (c) 主 催：JNTO
- (d) 商談件数：36 件

**(3) 誘致マーケティングの強化**

**ア 有力な MICE 誘致案件の情報収集・整理**

当財団で蓄積した開催情報のほか、ICCA データベース等を活用し、誘致活動を行った。

**イ グローバル MICE 都市事業**

(7) MICE ロゴマークの作成

千葉の MICE ブランドを構築し、国際会議をはじめとした MICE 誘致を効果的に行うための MICE ロゴマークを作成した。

ロゴマークの決定にあたっては、「ロゴマーク作成報告・検討会」を開催し、MICE 誘致に密接に関わっている千葉県、千葉市を始めとする自治体、MICE 施設やホテル関係者、財団職員が出席する中、千葉大学の大学院生 5 名が作成した案について、出席者それぞれの立場や経験などを踏まえ、意見交換を行った。

(イ) ステークホルダーとの連携（再掲）

グローバル MICE 都市として、オール千葉での誘致競争力強化を図ることを目的とし、自治体、MICE 施設、宿泊施設等との連携を強化するための会議及び研修会等を行った。（P6～P8 e ステークホルダーとの連携）

(ウ) 観光庁との連携

観光庁が選定したグローバル MICE 都市全 12 都市が、それぞれの知見や先進的取組、直面する諸課題等について共有しながら、国全体の MICE 誘致・開催の競争力強化を進めていくことを目的に設置された「グローバル MICE 都市・都市力強化対策本部（平成 29 年 11 月観光庁）」に千葉県及び千葉市とともに参加し、意見交換、情報共有を行った。

## ウ 県内で開催される MICE 関連統計の整備

JNTO 基準の国際会議の開催状況を把握し、統計情報に反映するため、県内で開催される国際会議の実態調査を行った。調査にあたっては、千葉県・千葉市と連携し、幕張メッセをはじめとする MICE 施設や千葉大学等関係団体の協力のもと、実態把握に努めた。

## エ 総会・研修会・セミナー参加、各種団体への加入

観光庁、JNTO、JCCB、大学、及び各種団体等の会議・セミナー等へ参加した。職員がその専門性や能力に合わせて初任者向けやプレゼンテーションスキルアップなどの各種研修やセミナー等に参加し、併せて最新の MICE 動向に関する情報収集や人的ネットワークの拡充を図った。また、各種ビジネス交流会に積極的に参加し、特に国際的な企業ミーティングの情報を収集し、新規顧客を開拓した。

(参考) 研修・セミナーの参加状況

名称	主催団体	開催時期	内容
千葉銀行海外支店との情報交換会	株式会社千葉銀行 当財団	平成 29 年 4 月ほか	情報交換会
人づくり委員会	一般社団法人 千葉県経営者協会	平成 29 年 5 月ほか	人材育成のための 意見交換会
JNTO MICE セミナー ～初級者対象～	JNTO	平成 29 年 5 月	セミナー・ 意見交換会
JCCB 平成 29 年度 通常総会	JCCB	平成 29 年 6 月	総会・会員交流会
千葉インバウンド 促進協議会	千葉インバウンド 促進協議会	平成 29 年 6 月	総会・情報交換会
公益社団法人 千葉県観光物産協会 通常総会	公益社団法人 千葉県観光物産協会	平成 29 年 6 月	総会・情報交換会
平成 29 年度 千葉産業人クラブ	千葉産業人クラブ	平成 29 年 6 月ほか	総会、記念講演等
首都圏コンベンション施設 運営協議会共同視察会	首都圏コンベンション施設 運営協議会	平成 29 年 7 月ほか	首都圏にある MICE 施設の視察会
JCCB コンベンションビュロー 部会 (北見市・高知市)	JCCB	平成 29 年 7 月、 12 月	部会、意見交換、 視察
平成 29 年度千葉県 への要望書の提出及 び知事との懇談会	一般社団法人千葉 県経済協議会	平成 29 年 8 月	要望書提出ほか
JNTO インバウンド旅行 セミナー	JNTO	平成 29 年 9 月ほか	情報交換会
千葉市海外インバウンド ツーリズム推進協議会	千葉市	平成 29 年 10 月ほか	情報交換会
JCCB 人材育成委員会 研修会	JCCB	平成 29 年 10 月	研修会・ 情報交換会

日本コンベンション協会（JCMA）総会	一般社団法人 日本コンベンション協会	平成 29 年 12 月	総会・情報交換会
経済活性・ 東京オリンピック・パラリン ピック施策検討委員会	一般社団法人 千葉県経済協議会	平成 30 年 1 月	「千葉県への提言と 要望」策定
MICE シンポジウム	観光庁・JNTO	平成 30 年 2 月	シンポジウム

## 2 国際交流・国際協力の促進と多文化共生社会づくり

### (1) ネットワーク化事業

#### ア 国際交流ボランティア制度の運営

##### (ア) 国際交流ボランティア制度の運営

国際交流事業への積極的な参加を希望する県民を対象に、ホームページ等で常時呼びかけ、次のカテゴリーでボランティアを登録し、活動の場を紹介した。

平成 29 年度は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、JAPAN AIRLINES Championship(米国 PGA TOUR CHAMPIONS 公式戦、30 名)、Goallball Japan Men' s Open (延べ 61 名) などのスポーツ大会に係る活動の場を紹介した。

##### a 語学ボランティア

…通訳や翻訳等、語学を通じて国際交流を図るもの

(a) 登録者数：1,579 名

(b) 紹介件数：54 件(延べ 205 人(多文化共生サポート制度該当分を含む))

##### b ホストファミリーボランティア

…外国人を家庭に招待して国際交流を図るもの

(a) 登録者数：335 家庭

(b) 紹介件数：2 件(17 家庭)、21 ゲスト

##### c 文化ボランティア

…趣味、特技、外国生活体験等を生かして国際交流を図るもの

(a) 登録者数：255 名

(b) 紹介件数：1 件

##### d 日本語ボランティア

…外国人と日本語によるコミュニケーションを通じ国際交流を図るもの

(a) 登録者数：126 名

(b) 紹介件数：1 件(17 名)

##### e 事業ボランティア

…イベントの支援や災害時の外国人支援を通じ国際交流を図るもの

(a) 登録者数：88 名

(b) 紹介件数：1 件(延べ 6 名)

(参考) 国際交流ボランティア数の推移 (各年度末現在)

種別	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
語学 (人)	973	1,012	1,146	1,349	1,579
ホストファミリー (家庭)	333	337	339	332	335
文化 (人)	251	249	248	253	255
日本語 (人)	91	93	109	121	126
事業 (人)	—	32	54	73	88
計 (延べ)	1,648	1,723	1,896	2,128	2,383

#### (イ) 多文化共生サポート制度の運営

医療、福祉、教育、災害等緊急の生活支援を要する在住外国人に対し、語学ボランティアなどを紹介するとともに、必要に応じ、ボランティア活動費の支援を行った。

- ・紹介件数：34 件（うち活動費等の負担件数 3 件）

### イ 多文化共生ボランティア養成研修事業

#### (7) 日本語ボランティア事業

##### a 日本語ボランティア基礎講座

在住外国人に対し日本語を教えながら交流しようとする県民や県内のボランティアを対象に、必要となる基礎的な知識や素養を養うための講座「日本語ボランティア基礎講座 in 千葉」を実施した。

- (a) 開催日：平成 29 年 6 月 28 日（水）・7 月 5 日（水）・12 日（水）・19 日（水）・26 日（水）・8 月 2 日（水）（全 6 日）
- (b) 会場：千葉県国際交流センター 研修室
- (c) 講師：金子広幸氏（法政大学 講師）
- (d) 参加者数：35 名（延べ 195 名）

##### b 日本語ボランティア・スキルアップ講座

県内で活動する日本語ボランティアや関心のある県民を対象に、在住外国人への日本語指導に向けた更なる資質向上を目指すための実践的な講座（児童、大人向け）を、日本語指導者等を招いて実施した。

- (a) 開催日：平成 29 年 12 月 3 日（日）及び 12 月 15 日（金）
- (b) 会場：千葉県国際交流センター 研修室
- (c) 講師：齋藤ひろみ氏（東京学芸大学 教授）  
浜田麻里氏（京都教育大学 教授）  
岩田一成氏（聖心女子大学 准教授）  
高木祐輔氏（Nihongo Instructor Club 非常勤講師）
- (d) 参加者数：73 名（延べ 146 名）

**(イ) コミュニティ通訳研修**

日ごろ県内の在住外国人から相談等に応じている語学ボランティアなどを対象に、外国人が生活する上で必要となる基本的事項（出入国や戸籍等に係る行政手続など）や年金制度並びに社会福祉制度について学ぶ研修を専門家等を招いて実施した。

- a 開催日：平成 29 年 10 月 16 日（月）・23 日（月）・30 日（月）・11 月 6 日（月）  
（全 4 日）
- b 会 場：千葉県国際交流センター研修室
- c 講 師：広瀬理夫氏（弁護士）  
佐藤 修氏（公益財団法人入管協会）  
田島 光氏（社会保険労務士）  
白谷秀一氏（多文化フリースクールちば主宰者）
- d 参加者数：78 名（延べ 78 名）

**(ウ) 通訳ボランティア養成講座（受託事業）**

東京オリンピック・パラリンピックに向け支援体制の充実を図るため、また、県内の在住外国人の支援を担う人材を育成するため、通訳ボランティア養成講座を開催した。

- a 平成 29 年度第 1 回
  - (a) 開催日：平成 29 年 7 月 13 日（木）・20（木）・7 月 27 日（木）（全 3 日）
  - (b) 会 場：ミレニアムセンター佐倉
  - (c) 参加者数：33 名（延べ 99 名）
- b 平成 29 年度第 2 回
  - (a) 開催日：平成 29 年 8 月 16 日（水）・23 日（水）・30 日（水）（全 3 日）
  - (b) 会 場：木更津市中央公民館
  - (c) 参加者数：40 名（延べ 120 名）
- c 平成 29 年度第 3 回
  - (a) 開催日：平成 29 年 9 月 23 日（土）・30（土）・10 月 7 日（土）（全 3 日）
  - (b) 会 場：千葉県国際交流センター
  - (c) 参加者数：34 名（延べ 102 名）
- d 平成 29 年度第 4 回
  - (a) 開催日：平成 29 年 11 月 11 日（土）・18 日（土）・25 日（土）（全 3 日）
  - (b) 会 場：千葉県国際交流センター
  - (c) 参加者数：33 名（延べ 99 名）
- e 平成 29 年度第 5 回
  - (a) 開催日：平成 29 年 12 月 9 日（土）・16 日（土）・23 日（土）（全 3 日）

- (b)会 場：千葉県国際交流センター
- (c)参加者数：34名（延べ102名）

f 平成29年度第6回

- (a)開催日：平成30年1月24日（水）・31日（水）・2月7日（水）（全3日）
- (b)会 場：松戸市民劇場
- (c)参加者数：35名（延べ105名）

※講師は第1回から第6回まで共通

- 千田健太氏（公益財団法人日本フェンシング協会 理事）
- 小松孝之氏（株式会社ちばぎん総合研究所）
- 派遣講師（株式会社サイマル・インターナショナル）
- 派遣講師（True Japan Tour 株式会社）

## ウ 国際理解セミナー事業

### (ア) 国際理解セミナー

県民、県内の民間交流団体や学生等を対象に、国際理解の促進、グローバル人材の育成、国際交流・協力活動の促進等に役立つ講座を、専門家等を招いて実施した。

a 一般向け国際理解セミナー

県民の異文化理解や国際協力への理解を深めることを目的に、セミナーを実施した。

(a) 平成29年10月17日（火）

- ① 会 場：千葉市文化センター
- ② 講 師：山崎一彦氏（順天堂大学大学院 教授）
- ③ 内 容：講演「国際大会出場選手・監督から見たボランティア活動  
～オリンピック・パラリンピックに10倍楽しく  
関わる方法～」

④ 参加者数：120名

\*千葉県との共催により開催した国際交流・協力等ネットワーク会議において実施

(b) 平成29年8月21日（月）

- ① 会 場：手賀の丘少年自然の家
- ② 講 師：須原ホセルイス氏・アヴァゼ・アボルファズ氏
- ③ 内 容：講演「ペルーの文化・ダンスの紹介」（須原氏）  
講演「イランの文化について」（アヴァゼ氏）

④ 参加者数：82名

\*千葉県高等学校教育研究会国際教育研究部会との共催により開催

- (c) 平成 30 年 2 月 24 日 (土)
- ① 会 場：ワールドビジネスガーデン
  - ② 講 師：久保田弘信氏 (フォトジャーナリスト)
  - ③ 内 容：講演「日本で報道されない中東の現状」
  - ④ 参加者数：97 名
- \*JICA 教師海外研修授業実践報告会と同時開催

**(イ) 国際協力パネル展**

国際協力や国際理解の意識を高めるため、関係機関と合同でパネル展を実施した。

- a 開催日：平成 29 年 4 月 18 日 (火) ～24 日 (月)
  - b 会 場：そごう千葉店ギャラリー
  - c 内 容：国際協力活動等を紹介したパネル展
- \*千葉県、JICA 東京、千葉県ユニセフ協会との共催により実施

**(ウ) 国際フェスタ CHIBA**

国際交流・協力事業への県民理解を深めるとともに、国際交流・協力団体間のネットワーク化を図るため、関係団体等と連携して啓発イベントを実施した。

- a 開催日：平成 29 年 5 月 27 日 (土)
  - b 会 場：神田外語大学
  - c 内 容：民間団体の国際交流・協力活動紹介及び民族音楽パフォーマンス等  
(主催団体のほか、民間団体、学生団体など 26 団体が参加)
  - d 来場者数：1,500 名
- \*神田外国語大学 CUP (学生ボランティア団体) 主催の「第 13 回幕張チャリティ・フリーマーケット」と同時開催

各種講座受講者数の推移

年度	国際理解促進		ボランティア向け	
	目標	実績	目標	実績
27	3 講座 350 人	2 講座 170 人	3 講座 150 人	6 講座 222 人
28	3 講座 300 人	3 講座 196 人	9 講座 290 人	9 講座 306 人
29	3 講座 300 人	3 講座 299 人	9 講座 290 人	9 講座 395 人

**エ ちば出前講座**

県民の国際理解や国際協力への意識啓発等を図るため、在住外国人や青年海外協力隊 OB を講師として団体や学校、公民館などへ派遣し、出身国や開発途上国での体験等を伝える講座を、JICA (国際協力機構) と連携して実施した。

- (ア) 登録者数：313 人 (JICA 関係者 106 人、在住外国人 207 人)
- (イ) 件 数：60 件 (JICA 講師 27 件、在住外国人講師 33 件)
- (ウ) 派遣講師：71 人 (JICA 関係者 32 人、在住外国人 39 人)
- (エ) 受講者数：6,828 人 (JICA 講師分 5,189 人、在住外国人講師分 1,639 人)



## オ 様々な主体との交流・調整事業

### (ア) 国際交流・協力等ネットワーク会議

県内の民間交流団体や地域の国際交流協会等を対象に、千葉県国際交流センターによる実施事業の周知や、団体活動に関する情報交換、意見交換を図るための会議を開催し、団体相互の連携を促進し、地域におけるネットワーク化を推進した。例年実施している事業説明及び団体活動紹介に加え、平成 29 年度は新たな企画として、分科会での意見交換を行った。

- a 開催日：平成 29 年 10 月 17 日（火）
- b 会場：千葉市文化センター
- c 内容：
  - (a) 平成 29 年度事業について  
(千葉県国際課、千葉県国際交流センター、JICA 東京)
  - (b) 事業の事例紹介等 3 団体が発表  
\*千葉県と共催により実施
  - (c) 分科会
    - 1 班 国際協力を通じた地域活性化
    - 2 班 スポーツ大会を通じた地域振興・国際交流
    - 3 班 外国人支援・多文化共生について
- d 参加者数：54 名

### (イ) 相談事業意見交換会

日ごろ県内の在住外国人からの生活相談等に応じている市町村や市町村国際交流協会等の相談担当者を対象に、相談に役立つ講演や情報の共有及び意見交換を行い、県内全域でのネットワークの強化を図った。

- a 開催日：平成 29 年 7 月 24 日（月）
- b 会場：千葉県国際交流センター研修室
- c 講師：三宅貞治氏（千葉県弁護士会外国人権利委員会）  
坪内清久氏（千葉県弁護士会外国人権利委員会）
- d 内容：
  - (a) 講義「外国人の労働問題」
  - (b) 市町村・市町村国際交流協会の外国人相談窓口開設の現況について情報交換
- e 参加者数：19 名  
\*千葉県と共催により実施

### (ウ) 外国につながる子供のための日本語ボランティアの集い

県内において、日本語を母語としない外国人児童等へ日本語指導を行っているボランティアなどを対象に、活動に役立つ情報の提供や、意見交換等を図るための会議を行った。

- a 開催日：平成 29 年 2 月 23 日（木）
- b 会場：千葉県国際交流センター研修室

- c 講 師：白谷秀一氏（NPO 法人多文化フリースクールちば代表）  
近藤明子氏（気軽な国際交流の会代表）
- d 参加者数：37 名

**(I) 各種関係機関・団体との連携**

- a 法人・任意団体の運営への参画  
次の法人又は任意団体の構成員（理事、評議員）として、国際交流・国際協力の推進に参画した。
  - (a) 公益財団法人千葉県国際交流協会
  - (b) 千葉県ユニセフ協会
  - (c) 千葉ウイスコンシン協会
  - (d) 幕張インターナショナルスクール
- b 関係機関との情報交換等  
次の会議等において、関係機関と情報交換・意見交換等を行った。
  - (a) 千葉県高等学校教育研究会国際教育研究部会総会
  - (b) 9 都県市外国人相談企画研究会
  - (c) 多文化共生社会づくり連絡協議会
  - (d) 地域国際化協会連絡協議会総会、幹事会、職員国内研修
  - (e) 関東地域国際化協会連絡協議会情報交換会・作業部会
  - (f) 関東弁護士会連合会懇談会
  - (g) 2020 年東京オリンピック・パラリンピック CHIBA 推進会議  
（「外国人受入体制専門部会」、「機運の醸成・国際交流の促進専門部会」、「都市ボランティア分科会」）
  - (h) 千葉県通訳ボランティア養成検討会議
- c インターンシップの受入れ  
学生の職業意識の向上及び国際交流・協力に関する理解促進を図るため、県内の大学から 1 名の学生を受け入れた（8 月 22 日～29 日）。
- d 後援名義による支援  
県内の国際交流団体等が実施する 9 件の国際交流関係事業に対し、後援名義の使用承認を行った。
- e イベント等への参加協力  
次のイベント等に参加、協力した。
  - (a) 平成 29 年度英語・日本語弁論大会（千葉県高等学校教育研究会国際教育研究部会）
    - ① 開催日：平成 30 年 1 月 23 日（火）
    - ② 会 場：千葉市民会館
  - (b) 災害による多言語翻訳の協力（関東地域国際化協会連絡協議会）
  - (c) 日本貿易振興機構アジア経済研究所開発スクール入学式・修了式
  - (d) 千葉県日中友好協会新年祝賀会
  - (e) 船橋市国際交流協会設立 30 周年記念事業
  - (f) 千葉県国際交流協会連絡協議会

## カ 国際交流サロンの提供

県民や県内の民間交流団体等に対し、国際交流・協力活動や、研修・交流・国際関連情報提供等の場となる国際交流サロンを運営し、研修室や資料コーナー等の場を提供して活動を支援した。

- ・研修室利用累計：127回 878人

## キ 在外千葉県人会活動補助

ブラジル及びアルゼンチンの千葉県人会に対し、千葉県と連携して補助を行った。

## (2) 情報提供事業

### ア 会報「国際交流つうしん」の発行等

#### (ア) 会報「国際交流つうしん」の発行

千葉県国際交流センターの事業や、県内の民間交流団体の活動等の紹介し、国際交流、国際協力、多文化共生等に関する意識啓発や活動促進などにつなげた。また、平成29年度より、オリンピック・パラリンピック関連記事の連載を開始し、ボランティアの情報や県内で開催される種目などを中心に競技等について紹介した。(年3回発行、各10,000部発行、ホームページにも掲載、対象は県民や県内の民間交流団体、ボランティア等)

#### (イ) 「国際交流伝言板」の発行・配信

県内の民間交流団体や行政機関等による国際交流等関係事業(イベント・募集事業等)を「国際交流伝言板」として取りまとめ、県民や在住外国人、県内民間交流団体等に対し、4か国語(日・英・中・スペイン)により発行するとともに、ホームページ上で随時情報提供を行った。

あわせて、県内の民間交流団体等によるボランティア募集情報を収集した「ボランティア募集!伝言板」についても、紙媒体での提供やホームページでの掲載を行った。

#### (ウ) ホームページによる情報提供

県民や在住外国人、県内の民間交流団体等への迅速かつ有益な情報源とするため、千葉県国際交流センターの従来のホームページに加え、平成29年度よりFacebookを開設し、次のような内容を掲載した。

(主な内容)

- ・外国人のための生活情報、相談窓口、国際交流ボランティア制度、県内の民間交流団体や日本語教室、国際協力情報、国際フェスタなどのイベント情報、オリンピック・パラリンピック関連情報、会報 など
- ・ホームページアクセス回数 78,489回

### (エ) メーリングリストの運営

県民や県内の民間交流団体、ボランティア等が、国際交流・協力等に関する情報を交換するため、メーリングリストを運営した。

・参加者数：546名

## イ 千葉県外国人学生住居アドバイザー事業

県内に在住を希望する外国人学生の住居確保を支援するため、一般社団法人千葉県宅地建物取引業協会及び公益社団法人全日本不動産協会千葉県本部の推薦に基づき42店舗が千葉県住居アドバイザーとして選任され、住宅に関する情報提供や助言を行った。

## (3) 在住外国人支援事業

### ア 外国人テレホン相談事業（受託事業）

在住外国人が安全で快適な生活を送ることができるよう、総合的な相談窓口として電話相談を行った。

(ア) 対象言語：英語（週5日）、スペイン語（週3日）、中国語（週1回半日）

(イ) 相談件数：828件

(ウ) 相談内容（上位5位）

①出入国 ②就労 ③医療 ④涉外戸籍 ⑤法律・諸制度

(エ) 相談者国籍（上位5位）

①ペルー ②日本（注） ③中国 ④フィリピン ⑤イギリス

（注）外国人の代理として、配偶者、知人、通訳等が相談するケース  
外国人への対応に関して日本人が相談するケース 等

（参考）外国人テレホン相談の状況

種別	年度					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
件数（件）	1,049	937	993	1,031	828	
相談内容 （上位5位）	1位	出入国	出入国	出入国	出入国	出入国
	2位	涉外戸籍	涉外戸籍	就労	涉外戸籍	就労
	3位	各種情報案内	法律諸制度	法律諸制度	医療	医療
	4位	法律諸制度	社会福祉	涉外戸籍	就労	涉外戸籍
	5位	就労	人権・身の上	各種案内	教育	法律諸制度
相談者の国籍 （上位5位）	1位	日本	日本	日本	日本	ペルー
	2位	ペルー	ペルー	ペルー	ペルー	日本
	3位	中国	中国	中国	中国	中国
	4位	フィリピン	フィリピン	フィリピン	フィリピン	フィリピン
	5位	パキスタン	キューバ	米国	キューバ	イギリス

## イ 在住外国人のための無料法律相談

在住外国人が地域社会で日常生活を送る際に抱える法律的な問題の解決を支援するため、千葉県弁護士会・千葉県行政書士会と連携して無料法律相談を行った（原則第一月曜日）。

- (ア) 開催日：平成 29 年 4 月 10 日、5 月 8 日（\*）、6 月 5 日、7 月 8 日（\*）、8 月 7 日、9 月 4 日（\*）、10 月 2 日、11 月 6 日、12 月 4 日、平成 30 年 1 月 13 日、2 月 5 日、3 月 5 日（\*）  
（\*）は行政書士を含む

(イ) 会 場：千葉県国際交流センター研修室等

(ウ) 相談者数：延べ 42 名

## ウ 緊急時支援

千葉県に住み、働き、学ぶ誰もが安心して日々の生活を送れるよう、災害など緊急時の支援のため、次の事業を実施した。

### (ア) 災害時外国人サポーター養成講座

市町村、市町村国際交流協会及びボランティア団体等と連携し、災害発生時に支援者として活躍できるサポーターを養成する研修を、千葉県等と共催で松戸市において開催した。

- a 開催日：平成 29 年 11 月 18 日（土）及び 11 月 25 日（土）  
b 会 場：ウェルネス柏  
c 講 師：高橋伸行氏ほか（多文化共生マネージャー）  
d 参加者数：延べ 121 名（1 日目 45 名、2 日目 76 名）

### (イ) ホームページ等を活用した多言語による情報提供（再掲）

## (4) 国際交流・協力、多文化共生事業に寄与する事業の積極的な受託

千葉県から「外国人テレホン相談事業」を受託し、4 言語による相談を実施することにより、在住外国人に対する支援を積極的に推進した。

また、「通訳ボランティア養成研修事業」についても千葉県から受託し、2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向け県内での支援体制の充実を図るとともに、県内の在住外国人の支援を行う人材を育成した。

これらにより、外国人が地域社会の一員として安全・安心に暮らせる多文化共生社会づくりを推進した（再掲）。

### 3 MICE 適地「千葉」ブランドの確立

#### (1) 「千葉」ブランドの確立

千葉のブランドイメージ確立のため、千葉県の有する魅力的ある MICE 資源の情報収集に努めるとともに、各種媒体を活用して国内外への情報発信を行った。

#### ア 広報媒体等（和文及び英文）を活用した千葉ブランドの発信

##### (ア) 財団ホームページの活用

ホームページに MICE 施設の概要、イベントカレンダーなど MICE に関する情報を掲載し、主催者や広く一般に対して MICE 開催地としての千葉県の魅力や利便性を PR した。

財団の 4 事業（①MICE、②国際交流、③フィルムコミッション、④スポーツコンシェルジュ）を分かりやすく紹介し、閲覧者に必要な情報を提供できるよう更新しながら、MICE 適地「千葉」の魅力発信の強化を図った。

##### (イ) 誘致ツールの作成

ミーティングプランナーズガイド（日本語）を作成し、冊子を誘致ツールとして活用するとともに、その内容を財団ホームページに掲載した。

##### (ロ) 自治体と連携した広報

・知事、市町村長の臨席、挨拶、招請状

##### (エ) MICE 誘致のための企画提案、プレゼンテーション、ネットワーキング

##### (オ) 賛助会員向けニュースレターの発行

賛助会員を対象として、四半期ごとに事業報告を行った。千葉県で開催される MICE 誘致・支援活動状況や、メディア掲載情報、「千葉 MICE Day」の開催報告などのビジネスチャンスにつながる情報を積極的に配信した。

##### (カ) MICE ケーススタディの発行

千葉県で開催した MICE 案件の誘致から決定までのプロセス、施設の利用方法、地域でのおもてなしの内容等をケーススタディとして取りまとめ、MICE の取組みを紹介する誘致ツールとして活用した。

##### (キ) MICE 開催に関するプレスリリース

###### a プレスリリース：5 回実施

- ・MICE ロゴマークの作成
- ・「千葉 MICE Day」開催
- ・MICE 開催情報：JpGU-AGU Joint Meeting

第 10 回アジア環太平洋音声言語聴覚学会学術大会

アジア・オセアニア国際アンチ・ドーピングセミナー

###### b メディア掲載：15 件

<メディア掲載の主なもの>

【国内】	【海外】
NHK、日本経済新聞、朝日新聞、読売新聞、千葉日報、JNTO メールマガジン、MICE ジャパン、展示会と MICE、見本市展示会通信、Event Biz ほか	IMEX Show Daily(ドイツ)、TTG Asia(アジア)、Headquarters(ヨーロッパ)、ICCA ホームページ、JNTO メールマガジンほか

(ク) 千葉県内で開催する MICE のホームページとのリンク

**(2) 千葉県フィルムコミッション運営事業（受託事業）**

映像産業を通して、千葉県の知名度、情報発信、文化の向上を図り、観光客の来県促進等に寄与するよう千葉県が実施するフィルムコミッション運営事業を受託し、千葉県のフィルムコミッションの総合窓口として、次の事業を実施し、新しい形の「MICE エリア千葉」の情報発信を行った。

**ア 映像関係者に対するロケーション撮影及びロケ地に関する情報提供、相談業務その他の撮影支援**

(7) 平成 29 年度撮影支援実績

内容	受付件数	撮影依頼件数	
		うち県内撮影件数	うち撮影立会件数
件数	2,630 件	299 件	95 件
			82 件

(参考) 撮影依頼件数の推移

年度	撮影依頼件数	
	うち県内撮影件数	
25 年度	172 件	51 件
26 年度	272 件	70 件
27 年度	365 件	105 件
28 年度	404 件	94 件

**【平成 29 年度 主な撮影支援作品】**

媒体	タイトル	撮影地
映 画	パンとバスと 2 度目のハツコイ	南房総市
	私に××しなさい	多古町
	累 かさね	市原市
	サニー	船橋市
	コードブルー 劇場版	木更津市、成田市、千葉市
	負けましたという世界で勝ちたい僕は	船橋市
	きらきら眼鏡	船橋市、勝浦市
	ギャングース	木更津市、千葉市
	夜明け	匝瑳市、旭市
	覚悟はいいかそこの女子	君津市
テレビドラマ	フジテレビ「櫻子さんの足下には死体が埋まっている」	千葉市

テレビ ドラマ	TBS「リバーズ」	千葉市、成田市
	テレビ朝日「トットちゃん」	館山市
	スカパー「弱虫ペダル」	白子町、長生村
	TBS「ごめん愛してる」	千葉市
	WOWOW「監査役 野崎修平」	千葉市
	テレビ朝日「相棒16」	柏市
P V	スピッツ「野うさぎ」	館山市
	Mr. Children「here comes my love」	富里市

- (イ) 撮影支援映画「先生！」の写真パネル&衣裳展実施  
・渚の駅、JR館山駅（館山市）
- (ウ) ロケ地マップの制作・配布  
・映画「打ち上げ花火、下から見るか？横から見るか」  
・映画「アヤメくんののんびり肉食日誌」  
・ドラマ「コードブルー」  
・映画「先生！」
- (イ) 千葉県フィルムコミッション関連ホームページ  
・「千葉県フィルムコミッション ホームページ」及び「ちばフィルムツーリズム ホームページ」の統合・更新

## イ 市町村での撮影に関する調整、実績調査、その他市町村のフィルムコミッション設立を促進するための会議等の開催

- (7) 平成29年 千葉県内映画・ドラマ等撮影実績調査の実施（年2回）

※対象 県内全市町村

- ・第1回：平成29年1月1日～同年6月30日
- ・第2回：平成29年7月1日～同年12月31日

- (イ) 平成29年度フィルムコミッション市町村担当者会議の実施

- ①開催日：平成29年7月5日
- ②会場：千葉県総合教育センター（千葉市）
- ③参加者数：44市町村56名

## ウ 千葉県映画・テレビ等撮影支援事業補助金

千葉県の様々な魅力を広く発信し、知名度の向上、県内の経済活性化及び観光客誘致を図ることを目的に、映画等の撮影を行う製作会社等に対して、ロケーション費用を助成する千葉県・映画テレビ等撮影支援事業補助金に係る事務を行った。



申請受理件数：4件

作品名と撮影地	交付決定日
映画「ゆずりは」(八千代市)	平成29年8月1日
ドラマ「コードブルー3rd」(印西市、木更津市、南房総市、旭市、銚子市、八千代市、茂原市、千葉市)	平成29年6月23日
映画「きらきら眼鏡」(船橋市、勝浦市)	平成29年11月6日
旅番組「男子旅」(鴨川市、南房総市、館山市、鋸南町、富津市)	平成29年11月24日

※「千葉県映画・テレビ等撮影支援事業補助金制度」における申請受理件数  
(大規模な撮影に係る作品3件、その他の撮影に係る作品「男子旅」1件)

## 4 庶務事項

### (1) 組織

#### ア 理事会・評議員会・監事

定款に従い、当財団の議決機関として理事会・評議員会を、予算執行等の監査機関として監事を設置している。

平成 30 年 3 月 31 日現在、理事 15 名・評議員 20 名・監事 3 名が就任している。

#### <理事会・評議員会・監査の開催経過>

会 議	開催日・会場	議 題
第 1 回理事会	平成 29 年 5 月 25 日 ホテルポートプラザちば	1 平成 28 年度事業報告及び決算(案)について 2 名誉会長の委嘱について 3 評議員の選任について 4 役員の選任について 5 定時評議員会(平成 29 年度第 1 回評議員会)の招集について (報告事項) 1 代表理事、業務執行理事の職務の執行の状況の報告
第 2 回理事会	平成 29 年 6 月 9 日 書面評決	1 代表理事の選定について 2 業務執行理事の選定について
第 3 回理事会	平成 29 年 7 月 1 日 書面評決	1 重要な使用人の選任について
第 4 回理事会	平成 29 年 8 月 31 日 書面評決	1 評議員の選任について 2 評議員会(平成 29 年度第 2 回評議員会)の招集について
第 5 回理事会	平成 29 年 11 月 10 日 書面評決	1 理事の選任について 2 評議員会(平成 29 年度第 3 回評議員会)の招集について
第 6 回理事会	平成 30 年 3 月 13 日 ホテルポートプラザちば	1 平成 30 年度事業計画及び予算(案)について 2 基本財産の指定について 3 平成 29 年度第 1 回補正予算(案)について 4 平成 29 年度第 4 回評議員会の招集について (報告事項) 1 代表理事、業務執行理事の職務の執行の状況の報告 2 労働契約法改正への対応について

会 議	開催日・会場	議 題
第1回評議員会	平成29年6月9日 三井ガーデンホテル千葉	1 平成28年度事業報告及び決算(案)について 2 評議員の選任について 3 役員の選任について (報告事項) 1 名誉会長の委嘱について
第2回評議員会	平成29年9月15日 書面評決	1 評議員の選任について
第3回評議員会	平成29年11月30日 書面評決	1 理事の選任について
第4回評議員会	平成30年3月22日 三井ガーデンホテル千葉	1 平成30年度事業計画及び予算(案)について 2 平成29年度第1回補正予算(案)について 3 評議員の選任について (報告事項) 1 基本財産の指定について 2 労働契約法改正への対応について

監 査	開催日・会場	議 題
平成28年度監査	平成29年5月15日 千葉県国際交流センター研修室	業務監査 会計監査

## イ 賛助会員組織

平成30年3月31日現在の正会員数は358、国際交流会員数は773であり、その内訳は、次のとおりである。

正会員 団体 355 個人 3

国際交流会員 団体 97 個人 676

### (7) 平成29年度新規加入賛助会員

a 正会員(入会順) 団体7、個人1

1	ダイワロイネットホテル千葉駅前 (ダイワロイヤル株式会社)
2	株式会社ディアーズ・ブレイン
3	栄広商会株式会社
4	ニラックス株式会社
5	ラオックス株式会社
6	旭交通株式会社
7	リコージャパン株式会社

b 国際交流会員 団体2、個人152

(参考) 過去の賛助会員数の推移

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
賛助会員数	949	931	975	1,043	1,131
正会員	344	334	342	350	358
団体会員 (団体)	341	331	339	348	355
個人会員 (人)	3	3	3	2	3
国際交流会員	605	597	633	693	773
団体会員 (団体)	94	96	97	96	97
個人会員 (人)	511	501	536	597	676

## ウ 事務局

平成 30 年 3 月 31 日現在の事務局体制は、代表理事以下 35 名（嘱託 10 名含む）である。

## (2) 規程の改正

職員の勤務条件等に係る規定改正を次のとおり行った。

### ア 平成 30 年 1 月 10 日改正

規程等名称	主な改正内容等
職員給与規程	県に準じた給料表等の改正 (平成 29 年 4 月 1 日からの遡及適用)
職員退職手当支給規程	県に準じた調整率の引下げ

### イ 平成 30 年 3 月 23 日改正

規程等名称	主な改正内容等
就業規則	規則の適用範囲に係る文言整理
職員退職手当支給規程	規程の適用範囲に係る文言整理

※附属明細書について

補足すべき重要な事項はないので、附属明細書は作成していない。